

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 7月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	2 1 7 1 0 0 0 4 8 8		
法人名	医療法人社団 福寿会		
事業所名	グループホーム コスモス苑「タやけ小やけ」		
所在地	郡上市白鳥町白鳥408番地1 (電話) 0575-83-0178		
評価機関名	NPO法人ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと		
所在地	各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル		
訪問調査日	平成20年7月15日	評価確定日	平成20年8月20日

【情報提供票より】 (平成 20年 6月 20日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 11月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	28 人	常勤12人, 非常勤16人, 常勤換算11人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (平成 20年 6月 20日 現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	4 名	要介護 2	5 名
要介護 3	5 名	要介護 4	3 名
要介護 5	0 名	要支援 2	1 名
年齢	平均 86.3 歳	最低 75 歳	最高 99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鷺見病院、白鳥病院、慈恵中央病院、西村歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、市の北部旧・白鳥町の中心、駅から徒歩3分の距離にあるが、広大な敷地の周囲は母体医療法人が経営する幾つかの介護関係施設と喫茶店が点在し、イングリッシュガーデンの緑も増えてきた。園児の鼓笛隊、児童の子ども太鼓、夏の盆踊り「白鳥おどり」等がホームの駐車場で行われ、利用者の楽しみになっている。先代からの医院経営に加えて介護事業を興し、「自分が将来入りたいようなホームをつくる」との願いで運営している。居間・食堂から自由に出入りできる中庭には、芝生や四季の花、野菜畑、金魚が泳ぐ池があり、そして、各種の果樹が沢山植栽されている。介護の水準は高く、家族アンケートの満足度も高い。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善課題である理念の実践と人事異動の家族通知については既に改善済みであるが、パート職員も含めた研修体制と終末期の方針共有については継続課題となっている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	職員は、自己評価において今後も取り組むべき改善課題として、87項目中特に10項目を選定し、研鑽が行われている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	会議ではホームの行事や報告案件が多いが、行政・自治会長・民生委員・家族会などの参加を得て、隔月開催を目標としている。母体法人経営の隣接のグループホームと一緒に開催している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	毎月「苑たより」が発行されて各家族に送られ、担当者からも利用者状況が書面で報告され、必要があれば電話連絡もしている。意見箱が玄関に設置され、家族会があり、運営推進会議にも家族が出席している。職員は、利用者や家族からの意見を真摯に受け止め、対応している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

敷地内にはグループホーム4ユニットの他に小規模多機能型居宅介護・介護付有料ホームもあり、利用者は相互に行き来しながら全体として地域との交流が行われている。訪問当日、その小規模多機能事業所にボランティアが来所し、行われたイベントにホームからも希望者が参加していた。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「見守ります」「見逃しません」「笑顔を引き出します」の理念は、法人全体の共通理念として玄関口等に掲示され浸透が図られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	建物に入った時に感じるほっとした気分は、管理者・職員が理想的な介護や理念の実践に向かって努力し、高いレベルの支援が行われていることの結果であると感じられる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地内には併設のグループホーム以外に小規模多機能型居宅介護・介護付有料ホームもある。利用者は相互に行き来しながら全体として地域との交流が行われ、園児の鼓笛隊、児童の子ども太鼓、夏の白鳥踊りなどが恒例に催され、利用者の楽しみとなっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価制度を良く理解し、具体的な改善を既に行っている。87項目中10項目はさらに取り組んでいきたい項目として選定している。	○	自己評価を、介護に関わる全職員の日頃の行動のチェックリストとして利用されることが望まれる。

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではホームの行事や報告案件が多いが、行政・自治会長・民生委員・家族会などの参加を得て、隔月開催を目標としている。母体法人経営の隣接のグループホームと一緒に開催している。	○	地域との交流がより一層進展するよう隔月開催の励行が期待される。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からは有形無形の支援を受けており、担当者レベルの定期的な交流機会がつけられている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月「苑たより」が発行されて各家族に送られ、担当者からも利用者状況が書面で報告され、必要があれば電話連絡もしている。金銭管理は来訪時に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱が玄関口に設置され、家族会があり、運営推進会議にも家族が出席している。重要事項説明書にはホームの苦情担当者名と外部の苦情申立て機関が明示しており、家族の意向を汲み取ろうとする努力がされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	少数精鋭の職員による濃密なケアが行われており、利用者へのダメージを防ぐ配慮がある。利用者家族へは便りで職員の異動は通知されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員はベテランが中心となっているが研修や資格取得には積極的である。職員の休憩時間は確保され、休憩室は別室であり、自宅に帰る人もいる。懇親会や慰安旅行も毎年行われている。	○	パート職員についても内部・外部を含めた研修体制の確立が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同じく医療法人経営のグループホームとは、情報交換が行われている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同一敷地内にあるショートステイを利用してその後に入居する利用者もあるが、入居時の基本調査はしっかり行われ、その記録も適切である。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者とは親しげな会話がもたれ、職員が教える習字教室の作品が居間に飾られている。利用者同士の会話や気遣いも感じられる。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	この6月から月1回、2名の市の介護相談員の派遣を受け入れ、利用者の意向の汲み取りに一層の努力が行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族に相談し、毎日のミーティングや、毎月のケア会議、更には責任者会議を経てベテランケアマネジャーによって介護計画が作られ、更に介護職員には介護の際の必携要覧として「(個人別)日課計画表」も作られている。計画書には「家族意見欄」がある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヵ月ごとに見直しが行われるが、状態の変化があれば、随時見直しがされている。介護記録も適切であり、年2回の「日常生活動作の状況・ケアチェック表」が使用されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体法人は小規模多機能型居宅介護・介護付有料ホーム・居宅介護支援事業等を行い、医師である経営者が1日に1度は出入りし、歯科や理美容院への通院支援も行うなど、総合的な多面的なサービスが行われている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従来からのかかりつけ医の受診には協力し、通院支援も行っている。協力医も3病院・1歯科医院があり、医師である理事長は隣接する自宅から日常的に出入りし、医療の面でも手厚いものがある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族の希望に対応して自然な看取りをホームで行う予定である。しかしながら、当面は世間一般の受け止め方も勘案し、自宅又は協力病院へ入院の協力を求める方針である。	○	斯業の先達として他の施設の範となる様に、重度化や終末期における対応マニュアルや、本人・家族の当面の希望・意思書等の書面化を図られることが期待されます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常的な会話やトイレ介助などは利用者の尊厳に配慮した適切なものである。記録等の個人情報情報は施錠された事務室にある。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員と利用者だけではなく、利用者同士の会話も多い。1人ひとりのペースを大切に、希望に添った支援が心がけられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	音楽の流れるなか利用者同士の会話も弾み、食事をしている。利用者の好みを聞いて献立会議で検討し、管理栄養士が献立を作成し、食材は近くの商店が一括納品し、調理している。配膳・下膳も役割分担されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回、月～土曜日、午後の時間帯の入浴ではあるが、それ以外の希望にも出来るだけ対応している。シャワー浴、足浴、清拭も行われている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵・習字・演芸・歌・料理・ゲームと利用者それぞれの支援がされている。樹齢500余年の桜の名木で有名な善勝寺は苑長の実家でもあり、年中行事となっている花見には歓待されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ外出を誘導しており、敷地1周だけでも十分な運動量が確保できる。居間・食堂から自由に出入りできる中庭は、芝生、花、野菜畑、金魚の泳ぐ池と見飽きる事はなく、季節ごとに楽しめる果樹が多い。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事務室は「玄関」「サンデッキ・中庭」「両ユニットの居間・食堂」の丁度中間にあり、自由度が高くても効率よく見守りが出来る。居室の鍵は使われていないが、玄関は夜間施錠されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常用飲料水や食糧の備蓄、防災体制表や緊急連絡先の掲示等は既に改善済みである。地域にも協力は依頼しており、今後は合同の防災訓練を検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は管理栄養士が作成し、栄養バランスを見守っている。食材は地元商店が配達し、職員が調理し、食事時には利用者の摂取量は水分とともにチェックされている。服薬支援も適切である。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いたある木質主体の内装、廊下はゆったり広く、天井も高い。トイレも広く清潔で男性用小便器もある。南面の程よく手入れされた広い中庭には自由に出入りできる開放感があり、生きていられる充実感が感じられる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は利用者好みの居室となっている。作り付けの棚は高さの調整も自由に出来て奥行きが深く、布団・衣装ケースや仏壇までもが収納されている。新しい介護用ベッドが無料で貸出しされている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。